

令和3年3月 新宮町教育委員会定例会 会議録

1. 開催日時

令和3年3月19日（金） 9時27分から11時11分まで

2. 場所

新宮町役場 3階第2委員会室

3. 出席者

宮川教育長、恵良委員、横山委員、本多委員、吉松委員

4. 欠席者

なし

5. 出席職員

森学校教育課長、西田社会教育課長、荒牧指導主事、豊釜指導主事、桐島社会教育課課長補佐、高木学校教育課主幹、三船学校教育課主幹

6. 欠席職員

なし

7. 日程

○ 日程第1 開会の宣告

（宮川教育長） ただいまから教育委員会定例会を開会いたします。

9時27分開始

○ 日程第2 会議録署名委員の指名について

（宮川教育長） 会議録署名委員は会議規則第17条の規定により、教育長及び会議で決めた委員の1名となっておりますので、今回は横山委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○ 日程第3 教育長の報告事項

（宮川教育長） 教育長会の報告なし

○ 日程第4 議事の審議

第3号議案 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則の制定について

（森学校教育課長）（議案により説明）

（宮川教育長） 質問等はありませんか。（特になし）

本議案を承認してよろしいですか。（全員承認）

第4号議案 新宮町立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

(森学校教育課長) (議案により説明)

(宮川教育長) 質問等はありませんか。(特になし)

本議案を承認してよろしいですか。(全員承認)

第5号議案 新宮町立学校校外活動交通費支援補助金交付要綱の制定について

(森学校教育課長) (議案により説明)

(宮川教育長) 質問等はありませんか。(特になし)

本議案を承認してよろしいですか。(全員承認)

第6号議案 新宮町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する告示の制定について

(森学校教育課長) (議案により説明)

(宮川教育長) 質問等はありませんか。(特になし)

本議案を承認してよろしいですか。(全員承認)

○ 日程第5 諸報告

1) 学校教育課の報告について

(森学校教育課長) (資料により学校教育課の報告)

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定
- ・ 新型コロナウイルスに係る緊急事態宣言解除後の対応について
- ・ 工事の状況について

G I G Aスクール事業

新宮町立学校扇風機設置工事

新宮東小学校教室増設工事

(宮川教育長) 質問等はありませんか。

(横山委員) 新宮小学校裏、学童保育の2階建ての古い建物のカーポートが飛んでいる。古い建物のほうは、屋根が出ている。点検の必要を感じた。

(三船主幹) 安全点検を月1回以上必ず点検を実施している。学童保育は子育て支援課の所管であるため、行き届かない部分があったのかもしれない。確認する。

(本多委員) 電子黒板の件。全教室の約半数購入ということですが、全教室配置は。

(森学校教育課長) 国の活性化臨時交付金の対象になるため、交付枠の範囲内で購入した。今年も臨時地域活性化臨時交付金があると聞いているので、6月補正予算に要求予定。将来的には特別教室も含め配置したい。

② 連絡事項

- ・ 令和3年度学校教育グランドデザイン発表会について

2) 社会教育課の報告について

(西田社会教育課長) (資料により社会教育課の報告)

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定

② その他

- ・ 令和3年度新宮町社会教育等行事計画表
- ・ 町立図書館利用状況及び行事予定
- ・ 町立図書館資料特別整理期間（曝書）の点検報告

(宮川教育長) 質問等はありませんか。

(本多委員) 4月4日体育施設のクリーンデイは、クラブチームのほうで中止と聞いた。

(西田社会教育課長) 体育館関係は、屋内なので中止、グラウンドを少し行う予定。

(本多委員) ブックスタートについて、絵本のプレゼントは続けていたのか。

(西田社会教育課長) ブックスタート、図書啓発という意味で2冊の配布はずっと続けている。

(本多委員) ぜひ続けてほしい。およそ何組ぐらい参加されているか。

(西田社会教育課長) 300~400セット用意していたと思う。

(宮川教育長) とてもいい取組。いい出会いをしてほしいと思う。

他にありませんか。社会教育課の報告を終わります。

○ 日程第6 その他

1) 町立幼稚園について

(宮川教育長) 前回教育委員会審議に引き続き。前回までの確認事項。

(森学校教育課長) 資料参照。前段初めから、2番目、2枚目3枚目は、現状の内容確認。2枚目の下3番目、本町における就学前教育保育における基本的な考え方は前回までの内容のまとめ。2枚めくり5番目、町立幼稚園としての役割を果たすための最適な配置の実現に向けてが今回確認いただく内容。

前回までのまとめ。園児数の減少で、統合はやむを得ないということ。

統合は長期的ビジョンにより進める必要があるとの意見があった。

長期的部分は今後も継続検討するが、まず中期的、短期的にどう見直しをしていくか。統廃合がやむを得ないという話でまとまったが、その根拠は何かを記載している。公共施設等総合管理計画の基本方針がその根拠に当たると考え、資料を添付している。国が平成26年公共施設の総合的な管理に関する指針、方針を示している。これに基づき、町が今後の公共施設の管理の計画、基本的な方針を作成している。35ページ②既存施設の見直しと複合化、縮減。

利用者が少ない施設や空きスペースが見られる施設については有用な施設であるかを把握の上、施設機能の移転や施設の統廃合を含めた施設保有の在り方等を施設の状況を評価検証し、統廃合の可能性を常に検討するとなっており、今回統廃合の見直しはここが根拠になる。

立花幼稚園は、就労支援という目的もあり、単体で残す方針で決定と認識している。

新宮幼稚園と新宮東幼稚園の統合をどうするか。東幼稚園は施設の大規模改修が必要であれば、新宮幼稚園でやむを得ないと判断されたと認識している。

新宮幼稚園も課題がある。駐車場がない。そこでの一つの提案として、送迎バスを回すという意見が出ていた。前はここまでであった。

(宮川教育長) 「5. 町立幼稚園としての機能や役割を果たすための最適な配置の実現に向けて」に「新宮町の公共施設等総合管理計画の基本方針」を踏まえ検討する。

5(1)「園児数及び地域的なバランスへの配慮」と(2)「施設の状況」、(3)「園児への影響を最小限にとどめる配慮」三つを抑え進めていく。あと今後検討していくに当り、立花幼稚園についてはこの検討の対象にはしない。新宮幼稚園と東幼稚園の在り方について、検討いただきたい。

(恵良委員) 5(2)②の新宮幼稚園の説明中、役場の駐車場が不足する時があると書かれているが、駐車場問題は新宮幼稚園だけじゃなく3園全てではないか。

(森学校教育課長) 幼稚園は、原則車での送迎を認めていない。現実自動車送迎はある。東幼稚園についてはそびあの駐車場が使える。新宮幼稚園も、松林の中の駐車場を幼稚園が優先使用している。大きな会議時、来客が松林の中に駐車したり、送迎時速やかに移動せず、立ち話をすることで駐車場が不足することがある。統合した場合、統合先の幼稚園までの距離が遠くなり、徒歩での登園は難しい。

(宮川教育長) 保護者が送迎することが原則。園区をなくしているため、従来のような徒歩でという事は原則でとしか言えない。従って、駐車場について手立てを考えなければいけない。送迎バスの件も出たが、駐車場問題が不必要になるような環境を整える必要が出てくる。

(本多委員) 送迎バスが早い段階で文書に出て来たほうが、地域的にも理解を得やすい。(必須)。仕事の行き返りの送迎もあると思うので駐車場は確保する。

(森学校教育課長) 送迎バスは、徒歩送迎が困難なところから通園するための支援。駐車場の問題もあり、送迎バスがあれば解消できる。

送迎バスの見積りを徴取したが、巡回コース未定での概算になるが、約100人を想定し、50人乗りのバスを2台、行き帰りの送迎1日2回で依頼した。

車両手配からすべて委託すると約830万円の見積り。車両を購入し、運行だけ委託すると金額が下がる。新車購入の場合600万円以上する。何年で採算がとれるか不明。1,000万円程度と考えていたため、妥当な数字。統廃合した場合、

人件費が減少する部分と比較すると、十分検討の余地はある。

内容をもう少し精査すると安価になる可能性があるので、統廃合に当たっての送迎バスの提案は十分可能。

(本多委員) 私立の幼稚園バスはシートベルトが付いてないバスしかない。

シートベルトがある幼稚園バスを持っている幼稚園が少ない。非常に怖いと思った。予算を見積もる中でシートベルトがあるバスを見つけていただきたい。

(森学校教育課長) 恐らく法律で規定がされていないのではないかと。もともとバスは、2席続きとなっているが、子どもの場合3人座ることができる。

子ども用に改造したときシートベルトを外している可能性がある。法律的を調べる必要があるが、新規で購入する場合事故などの配慮が必要かもしれない。

(三船学校教育課主幹) 幼児専用車の安全性向上のガイドラインにシートベルトについては記載がなく、国交省が出したガイドラインでは、幼児専用車の事故への早期対処として、シートの緩衝材や高さなど事故時の衝撃を吸収する安全対策を施すことが望ましいとされている。シートベルトについては確認させていただきたい。

(宮川教育長) 園区が広くなり、通わせるためのバス等が必要になってくる。より安全なものというところを今後さらに研究する必要がある。

資料に戻り、5番目の最適な配置の実現に向けてのところで、1番目に地域的なバランスへの配慮、次に施設の状況、3番目に、園児への影響を最小限にとどめる配慮としているが、園児への影響を最小限にとどめることを1番に持ってきた方がいいと考える。特に統合される園にあっては、周辺に園児の受皿となりうる施設等があることが必要である。

(森学校教育課長) 博多東幼稚園が、新宮東中学校の近くに進出する計画がある。今300人規模の幼稚園だが同規模で、認定こども園化し保育所部分も増設して、令和5年に開園予定。新宮東幼稚園統合と同じタイミング。地域の受け皿としては博多東幼稚園が近くにできる。

(宮川教育長) 町立幼稚園入園を期待したいが、近くに受け皿があることも大事である。園児への影響を最小限にとどめる配慮の中の「受け皿となりうる施設が必要である」とあげているので、これを1番の項目として挙げてもよいか。

次に、地域的なバランス、施設の状況が3番目とする。

再度最終確認、新宮幼稚園と東幼稚園どちらを統合するのか。改めて地域的なバランスや施設、影響、配慮、3点から見てもう一度御意見をいただきたい。

(横山委員) 建物は、新宮幼稚園のほうが築年数は浅い。

今後の色々な背景を考えると、新宮幼稚園を残す方向。ハード面ではそうだが、国から保育料補助があるため、基本的に保護者は、金銭面では考えなくなってきた。移転する博多東幼稚園がどんな教育、保育をするのか、新宮幼稚園はどういう保育を進めていくか具体的なものを見て、判断をされていく。

要綱に幼児期の終わりまでに育てほしい姿とあるが、具体的に新宮幼稚園はどういう保育の仕方で育てていくのかを示していかないと、来年統合してもその魅力が見えず、園児が減少し、また数年後同じ論議となり、最終的には民営化する流れが決まっている気がする。残すのであれば、きちんとしたビジョンが必要、新宮町立幼稚園の在り方として全面的に打ち出していくものが欲しい。残す方向で考えると、その安全性を確保する面では、新宮幼稚園と考える。

(宮川教育長) 非常に内容面に関わることで、重要なこと。

私どもは、町立幼稚園の内容の良さを知っている。保護者の方も伝わっているが、町民の方まで届いていないと認識がある。もっと情報を発信していかなければならない。令和3年度の申込者は新宮幼稚園の場合、新規申込みのうち7割～8割がきょうだいがいる。あるいはきょうだい児が卒園した家庭。従って、ある程度(町立幼稚園の教育に)満足されたと思うが、外部に認知されていないという事は、情報

の発信の仕方が甘いと認識している。これからそれぞれの園でしっかり発信をしていく必要がある。

A L Tを活用した英語活動の増加や小中学校で配布されたタブレットを幼稚園の方も交流という形で活用出来ないか、給食に関しても立花が実施しているノウハウを取り入れ、実施出来ないかなど、早急に整理をし、校長先生、園長先生方と協議をしながら、そういうことをしっかり発信する。発信の仕方に力を入れる必要がある。

(吉松委員) 町立幼稚園のよさを知っていただくことが大事だと考えていた。

前回の後、町立幼稚園の強みは、幼小連携の部分で給食、図書館交流、小学校の先生が出向き話をするなど、欠くことが出来ないと思う。

公立だからこそ、福祉サービスと連携し、育児力アップ、悩み相談等を行い、そういう発信をすると町立幼稚園選択につながるのではないかと考えた。

(宮川教育長) 子育て支援という部分の連携。町の施設等と連携ができる町立幼稚園というところに強みを生かすということ。

(横山委員) 今回統合すると、職員に余剰が出るという話。雇用を守ることも含め、今後就園される予定の幼児に体験保育を実施し、職員の就労の場をつくって行くことができないかと。

(森学校教育課長) 統廃合の目的の一つとして、人件費の削減もある。

現在、正規職員と会計年度職員の人数が半々ぐらい。

今回統廃合し、立花幼稚園と新宮幼稚園の2園体制になった場合、正規職員の雇用は確保できるが、雇用できない会計年度職員がでてくる。

(宮川教育長) 介助員等の確保はできるか。

(森学校教育課長) 担任までが正規の職員になるので、補助教諭や介助員は、会計年度任用職員を雇用することになるだろう。

(横山委員) 入園前の2歳児を体験保育みたいな運営ができるか。

(森学校教育課長) 可能。現在も立花幼稚園で月1回実施している。

しかし、常時となると職員の配置問題が出てくるので、難しいかもしれない。

(横山委員) そもそも、3歳児未満は、援助の対象にはならないので、保育料は取れると思う。非正規職員を数名残し、新しいやり方として、そういう発信は出来ないものか。

(森学校教育課長) これから色々なアピールをしていく中で、一つの手法として、給食や小中交流などのアピールの中で、たけのこクラブのようなことを、新宮幼稚園でも検討していいと考える。

(横山委員) 今雇用している職員を優先的に雇用してほしい。

(森学校教育課長) 雇用枠があれば、優先的に雇用したい。

(本多委員) 子育て支援課が、乳幼児健診をしいる。その流れの中で、たけのこクラブのようなことを幼稚園教育の中の一環として盛り込んでいくと、地域の子育て交流の場としての役割を幼稚園の中で枠組みをつくってしまう。

幼稚園に入れて、小学校に入れて中学校でまた一緒になるとママ友の強みが町内の中で、できれば魅力が高くなる。保護者は友達ができるか、色々情報が欲しいという方が多いので、そういう形で子育て支援課の方と協力をしながら、保幼小中連携

という形をつくると、雇用の部分も保育園に回すことが出来ないかと思った。

(森学校教育課長) 今言われている形が、本来町が子育て支援課という組織を作った理由で教育委員会や福祉部門との連携をしながら、子育ての施策を重点的にやる流れが、必要となっている。

(宮川教育長) 町立だけではなく全体を見ていかなければいけない。子供たちの選択肢が広がり、行き場をなくさないように、最適な選択ができればいいなど。その中に町立幼稚園も重要な中の一つとして存在する。一方で、町立幼稚園は補完するという立場の部分、子供たちが困らないようにしたい。

しかし一定数は必要。忘れてはいけないのは、町立幼稚園の今までの歴史、積み上げてきたものをなくさないように継続して、しっかりと新宮町の子どもたちに還元できる町立幼稚園としての経営を目指すところが1番。ここに挙げている「最適な配置の実現に向けての3項目」は、この内容でよいか。立花幼稚園はそのまま今の環境を保持していく、新宮幼稚園に東幼稚園を統合する方向で進めていくという確認でいいか。

今日の結論として明確に新宮幼稚園に新宮東幼稚園を統合する。スケジュールはそこに示しているが、統合の年度について協議を行う。

(森学校教育課長) 統合の年度につきましては、段階を追って年少を来年度から募集しない。その次の年度は年中を募集しない。最終的に統合という形の段階で了承いただきたい。最終年度に、少人数の状況になるので、少し早い段階で、保護者のアンケートをとり、統合の段階的なやり方について意見を聞き、最終年度を前倒しすることも考える必要がある。

難しい部分のため、具体的な内容を次の教育委員会で審議をする方向でよろしいか。次回までにまとめたものに目を通していただき、気づいた点があれば出していただきたい。各園長に説明の必要があり、総合教育会議にこれをかけなければいけない。そのあと6月の議会で報告しなければいけない。

2) その他

昨日の議会の最終日に同意を得られ、横山委員が、第3期目教育委員として決定しました。

3) 教育委員会定例会の日程について

(森学校教育課長) (日程確認)

- ・ 3月臨時教育委員会
令和3年3月24日(水) 16時から
- ・ 4月定例会
令和3年4月28日(水) 9時30分から
- ・ 5月定例会
令和3年5月26日(水) 9時30分から

○ 日程第7 閉会の宣告

(宮川教育長) 以上で3月の新宮町教育委員会定例会を閉会します。

11時11分終了

署名 教育長 宮川 優子

署名 委員 横山 英治